

ハイデルベルク信仰問答より

問 45 私たちは、キリストの「復活」から、どのような益を得るのですか。

答え 第一に、キリストの復活により、彼は死を滅ぼした、ということであります。それは彼が死を通して、私たちのために勝ち得てくださった義を、私たちに分け与えるためです（ローマ 4:24-25）。第二に、私たちもまた、その力によって新しい生命に生きかえらされるのであります（ローマ 6:3-4）。第三に、キリストの復活は、私たちの祝福された復活の確かな保証であります（ローマ 8:11）。

ここでは、使徒信条の「(主は) 三日目に死人のうちより甦り」の部分が扱われています。死者の復活という、人間の理性によっては説明できないことを、私たちは毎週当然の如くに告白していることに、改めて気づかされるでしょう。処女降誕もそうですが、私たちは「当たり前のこと」「誰にでも納得のいくこと」を告白しているわけではありません。むしろ、神のなさることは人間の理解を超えているということ、声高に宣べ伝えているのです。別の見方をすれば、「誰にでも起こること」であるならば、告白する意味がないのかもしれませんが。キリストの復活は「ただならぬこと」であるけれど、それを当然のこととして信じている。それなくして、キリスト者の信仰は成り立たないからです。

本問答の問いにも「益」という言葉が出てきます。直近では、問43で「十字架上のキリストの犠牲の死から受ける益」について教えられていました（問28、36も参照）。主イエスの御業の一つひとつが信じる人に対して「幸い」をもたらす。信仰者を真の幸せに至らせる。キリスト教の教えは人に喜びを与えるものだということが繰り返し強調されているのです。答えの中では、主イエスの復活がもたらす幸いが三つにまとめ上げられています。括弧内の時間配列は、朝岡先生の説明を参考にしています。

- ①ご自身の義を分け与えてくださった（過去）
- ②新しいいのちに生かして下さっている（現在）
- ③復活の保証となってくさっている（未来）

以下で、これら三つの幸いをより詳しく説明してまいりましょう。

①ご自身の義を分け与えてくださった（過去）

主イエスの復活には「死を滅ぼす」という意味がありました。死は神の子の生命に打ち勝つことができなかつたのです。主イエスは死ぬまで父なる神に対して従順であられ、誰

にも果たし得なかった「神の御前における義」を完徹されました。では、何のために復活されたかという、それはご自分が完徹した「義」を信じる人に分け与えるためだったのです。ことごとを「義の共有」「義の分配」と言い表すこともできます。信じた人々はもう既にこの義を獲得してしまっただけです。だから「すでになされたこと（過去）」なのであり、この約束をひっくり返すことのできる者はいないのです。

また私たちのためです。すなわち、私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた方を信じる私たちも、その信仰を義とみなされるのです。主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです。（ローマ4:24-25）

②新しいいのちに生かしてくださっている（現在）

キリスト者には「新しいいのち」が与えられている。死んでいた霊が、神のいのちの息吹が吹き込まれたことによって復活したのです。このことは、現在生きているこの生活の直中で起きていることであり、私たちの全生活に神の支配が始まっていることを意味します。生活の隅々にまで、神の御業が及んでいく。そういうことを「現在」において体験していく存在となったのです。

③復活の保証となってくださっている（未来）

ここで言われている「復活」とは、死後いただくことになる「朽ちることなき栄光のからだ」のことです。もはや、老いも死もない新しい肉体が与えられ、永遠に神と共に生きるものとされる。祝福で満ち溢れ、秩序が完全に取り戻された世界でいつまでも生き、すべての営みが礼拝そのものとなるのです。主イエスの復活は、私たちの復活の前例でした。「わたしがこのように復活したと同じように、あなたがたもなるんだよ」と保証されているのです。

主イエスの復活のからだはどのようなものであったかは、福音書の最後の記事を通してある程度知ることができます。天に挙げられる前の主のからだは、完全な栄光に至る前の段階でした。その証拠に、手や脇腹には十字架で受けた傷跡が残っていました。その傷も天においては消えているのでしょうか。私たちもまた、地上では多くの傷を受けて生きています。心に、体に、たくさんの傷跡が残っているのではないのでしょうか。しかし、これらは私たちの死によって消滅し、新しい栄光のからだに更新されます。もはや痛みを思い出さずことはなく、不快なことは二度と経験することもなく、神が100%管理しておられる世界で永遠に生きることができる。主イエスの復活は、そのことの保証なのです。